

単元名 かん字の 学しゅう(二)

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 点画の長短や方向の違い、横書きの文字のそろえ方を理解し、字形を整えて、読みやすく書くことができる。
 (2) 点画の長短や方向の違い、横書きの文字のそろえ方を考えることができる。
 (3) 点画の長短や方向の違いに気を付けて、丁寧に書こうとする。

標準的な展開例

01020301_001

【教材名】土・川・タ／円・白／かいて つたえあおう (P. 36～P. 39)

【準備等】分解文字、補助線の入った練習用紙、メッセージカード(横罫紙)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 画の長さの長さに気を付けて、『土』『川』『夕』を書く。 ★画の長さの長さに気を付けて書こう ○『土』『川』『夕』を試し書きし、課題をつかむ。</p> <p>○『土』『川』『夕』の長く書く画と短く書く画について話し合い、長さの違いをつかむ。</p> <p>○『土』～『夕やけ』を練習する。</p> <p>○『土』『川』『夕』をまとめ書きする。</p> <p>2 画の方向の違いに気を付けて、『円』『白』を書く。 ★「折れ」の方向に気を付けて書こう ○『円』『白』を試し書きし、課題をつかむ。</p> <p>○画の方向について話し合い、理解する。</p> <p>○『円』～『中』を練習する。 ○『円』『白』をまとめ書きする。 ○文字の大きさについて知る。</p> <p>3～4 伝える相手のことを考え、友達に贈るカードを書く。 ★友達のよいところやありがたの気持ちを書いて伝えよう ○課題をつかむ。</p> <p>○横書きの書き方を理解する。</p> <p>○横書きの練習をする。 ○全文をまとめ書きする。</p> <p>○自己・相互評価をする。</p> <p>○イラストなどを加えて仕上げる。</p>	<p>・正しい『土』と三画目を短くした『土』とを示して、画の長さについて話し合わせる。</p> <p>・分解文字を使って、長い画と短い画とを重ね合わせて長さの違いを比べるようにする。 【評】話し合いを通して、画の長さの違いについての「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・水書用筆を使用して、「はらい」の感覚をつかませてもよい。</p> <p>・一画一画を丁寧に書かせる。 【評】作品を通して、画の長さの違いに関する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・『円』と『白』の拡大文字を示し、画の方向の違いについて考えさせる。</p> <p>・『円』の2画目と『白』の3画目の「折れ」は方向が違うことを確認する。</p> <p>・画の方向により字形が変わることを確認する。</p> <p>・文字の大きさにも気を付けて書かせる。</p> <p>・一画一画を丁寧に書かせる。</p> <p>・時間があれば「はってん」コーナーを取り上げ、漢字と仮名では文字の大きさが違うことに気付かせるようにする。 【評】作品を通して、画の方向の違いに関する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・お世話になった6年生や学級の友達へメッセージカードを書く学習であることを伝える。</p> <p>・教科書P. 38のメッセージカードの例をもとに横書きの書き方で大切なことを伝える。</p> <p>・まず目がないときは、文字や句読点は下の線にそろえて書くこと、拗音・促音は下の線にそろえて小さく書くことを押さえる。</p> <p>・補助線の入った練習用紙に書かせる。</p> <p>・カラーのメッセージカード(横罫紙)を用意しておき、児童が選べるようにしておく。</p> <p>・基準に気を付けてまとめ書きをさせる。 【評】作品を通して、横書きの「知識・技能」を評価する。</p> <p>・友達が書いた招待状のよさを見つけて、教え合うようにさせる。</p> <p>・渡す相手が喜ぶようなカードに仕上げるよう助言する。 【評】作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】